

を 楽 し も う !

5月29日、30日開催のあがりの演出を紹介

街道ウォッチング

街道を歩いてみる

近年、ウォーキングブームで街道を歩く人々が増えています。市内には東海道と中山道の2つの旧街道がとっており、市内外の多くの人が散策を楽しんでいます。今回は市内の東海道沿いの見どころの一部を紹介します。

◎目川田楽とほっこり庵

江戸時代に旅人の休憩場所の立場として栄え、「うまい」「安い」「腹持ちがいい」と評判だった田楽を販売していた店が多くあった岡。そこにある「ほっこり庵」では、今も昔ながらの雰囲気で田楽を味わうことができます。また、今年3月には隣に足湯もオープンしました。ウォーキングで疲れた足を癒してみては？



▶1月オープンの足湯



▲足湯でゆっくりしませんか

◎新日吉の霊水

旅人の疲れを癒すために、また憩いの場として重宝された、川辺にある新日吉の霊水。現在でも金勝川のきれいな伏流水がわき出しています。



▲旅人を癒したわき水

◎SL公園と

手原稻荷神社

手原駅開業50周年を記念して、D51形蒸気機関車が静態保存されているSL公園。今年



▲ライトアップされたSL

の3月に照明が修理され、桜の季節にはライトアップもされました。また、隣の稻荷神社には、傘を広げたような枝ぶりの松の木があることが広く知られ、江戸時代には「傘松の宮」とも称されていました。現在境内には樹齢約300年と推定されるシイの大木があります。

街道沿いには今回紹介した以外にもたくさん見どころがあります。ぜひ皆さんも散策に出かけてみてください。



▲稲荷神社のシイの大木



街道ウオッチングとあかりの演出

春の東海道

今回は市内の東海道沿いの見どころの一部と、

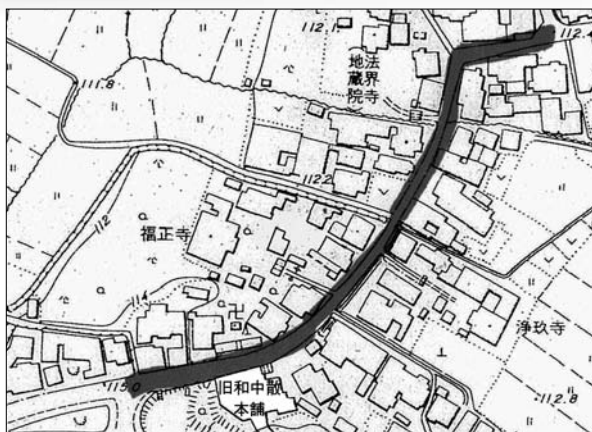
東海道ほつこり灯路

梅ノ木立場あかりの演出2010

昨秋、旧和中散本舗をはじめ旧東海道沿いにおいて、約400灯の露地行灯によるライトアップで好評を博した「あかりの演出」。

今年、栗東市観光物産協会では、「栗東八景」の名所旧跡がそれぞれもとも輝く時期に、あかりの演出を展開します。

第一弾として、春の旧和中散本舗で「東海道ほつこり灯路」梅ノ木立場あかりの演出2010」を実施します。



上記区間、16時～22時の間、交通自主規制（ただし沿線住民のみ車通行可）。迂回路を利用いただき、車での通行はご遠慮ください。

江戸時代、道中菓「和中散」で全国にその名をはせた「梅ノ木立場」。今回は、旧和中散本舗庭園のサツキが最も美しい時期に、梅ノ木立場一帯をあかりで演出。普段とは違った街道をぜひお楽しみください。

■日時：5月29日(土)、30日(日)

10時～21時（あかりの点灯は目没後）

■場所：旧和中散本舗大角家周辺（栗東市六地藏）

■駐車場：旧和中散本舗駐車場、コミュニティセンター「栗山東駐車場」

【協賛募集】

あかりの献灯協賛金を募集します。個人協賛は1口1000円、企業協賛は1口2000円から受付。昨年に引き続きの協賛は半額です。皆さんからの協賛をお願いします。

問合せ：栗東市観光物産協会（経済観光振興課内）

☎ 551・0126 FAX 551・0148

